



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月24日

上場会社名 株式会社幸楽苑ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7554 URL <https://hd.kourakuen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井田 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡辺 秀夫 (TEL) 024-943-3351
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	29,589	△4.6	439	△71.9	610	△59.3	△96	—
2019年3月期第3四半期	31,000	5.2	1,565	—	1,498	—	1,393	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △42百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 1,348百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△6.40	—
2019年3月期第3四半期	93.79	93.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,966	4,622	27.2
2019年3月期	18,256	4,962	27.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,622百万円 2019年3月期 4,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	1.7	2,100	28.2	2,000	26.0	1,100	8.9	73.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	16,774,841株	2019年3月期	16,774,841株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,749,455株	2019年3月期	1,795,557株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	15,046,251株	2019年3月期3Q	14,853,806株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	8
(1) 販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)におけるわが国の経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題、中東情勢の不確実性の高まり等もあり、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

外食産業におきましては、少子高齢化や働き方改革などの社会構造の変化、消費者の生活防衛意識の高まり、消費税増税を背景に、業種・業態を超えた競争激化、低価格志向、人材獲得競争等、厳しい経営環境が続いております。

このような当社グループを取り巻く環境と中長期的な経営戦略を踏まえ、長期的かつ安定的な企業価値の向上を図ることを企業目的として、「味の改革」、「マーケティング手法の抜本的転換」、「保有資産の活用と店舗ポートフォリオの最適化」、「筋肉質な経営」の4本柱の基本戦略に「増税時代に対応したリーズナブルなメニュー」と「ワンランク上のプレミアムラインの追加」を加えた「幸楽苑 令和戦略」を推し進めてまいりました。

しかし、台風19号の水害により、郡山工場(福島県)は操業停止し、その影響により東北・北関東・甲信越地方の店舗への食材供給ができず、臨時休業を余儀なくされるという被害が発生しました。当社は、速やかに緊急対策本部を立ち上げ、小田原工場(神奈川県)にて増産体制を組み、早急にメニュー・数量限定で郡山管轄店舗の営業を再開、更に11月初旬には郡山工場フル稼働を実現し、被災後1ヶ月で全店通常営業の再開を果たしました。

この台風19号の経験を踏まえ、当社は、災害リスクや減収局面に強い高収益体質の構築を推し進めることとしました。すなわち、店舗・工場・本社施策にかかる抜本的な構造改革を断行し、「収益重視型経営」(プロフィット・ドリブン)へ加速度的にシフトし、中期経営計画の達成を目指します。今後、速やかに、不採算店舗のスクラップ及び業態転換や既存店収益強化策の導入、工場施策としてのサプライチェーンの再構築、本社施策としての「見える化・仕組化」の推進や本社費の更なる圧縮、予実管理等にかかる業務改革等を進めていく方針です。

その抜本的構造改革の足掛かりとして、当社は2019年12月～2020年4月までに低収益店舗51店舗の閉店や業態転換を行うことを決定し、12月には東海地区を中心に低収益店舗30店舗の閉店を実施しました。この閉店は、カニバリゼーションの解消による全体収益率の向上、物流網の見直しによるトータルコストの圧縮等を目的としており、更には人手不足という業界を超えた課題へのソリューションとしての意義も有しております。

以上の状況の中、結果として、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は29,589百万円(前年同期比4.6%減)、営業利益439百万円(同71.9%減)、経常利益610百万円(同59.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は96百万円(同四半期純利益1,393百万円)と減収減益となりました。

また、当第3四半期連結会計期間末のグループ店舗数は、抜本的構造改革に伴う低収益店舗の閉店もあつた中で492店舗(同46店舗減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んで表示しております。

① ラーメン事業

台風19号の被害による休業・限定営業の影響を受けながらも、ラーメン事業においては、「中華そば」、「中華そばプレミアム」、「餃子極」をコアメニューとしながら、おやつカンパニーとのコラボメニュー「ベビースター入りラー油 鶏白湯らーめん」「まかない丼」、「平田牧場コラボ Wチャーシューめん」、「ローストビーフ入り牛骨らーめん」などのスポット商品を随時投入しました。また11月と12月の2回にわたり、「幸楽苑復活記念!お客様感謝祭」を開催し、売上高前期比95.6%、お客様数前期比95.6%にて着地しました。

店舗展開につきましては、既存ドミナントエリアの強化と利益率改善を目的として、業態転換を前提としたスクラップ18店舗、抜本的構造改革に伴うスクラップ30店舗、その他スクラップ7店舗を実施した結果、店舗数は、直営店445店舗(前年同期比59店舗減)となり、業態別には「幸楽苑」444店舗、「KOURAKUEN THE RAMEN CAFE」1店舗となりました。

この結果、売上高は26,986百万円(同4.1%減)となりました。

② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業（ラーメン業態のフランチャイズ展開）、その他外食事業（洋和食業態の店舗展開）を行っております。

フランチャイズ事業につきましては、1店舗のフランチャイズ店から直営店への転換により、店舗数は17店舗（国内12店舗、海外5店舗）となりました。その他外食事業につきましては、「資産を活用したマネタイズ（収益化）」の施策として、ラーメン業態からの業態転換を「焼肉ライク」6店舗、「からやま」4店舗、「赤から」3店舗で実施し、「いきなり！ステーキ」直営店16店舗、「焼肉ライク」直営店7店舗、「からやま」直営店4店舗、「赤から」直営店3店舗となりました。

この結果、その他の事業の売上高は2,602百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて509百万円減少し、4,055百万円となりました。これは、現金及び預金が573百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて780百万円減少し、12,911百万円となりました。これは、建物及び構築物が84百万円、リース資産が271百万円、投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産が101百万円、保険積立金が98百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,289百万円減少し、16,966百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて29百万円減少し、6,841百万円となりました。これは、未払費用が297百万円、未払法人税等が196百万円減少し、流動負債「その他」に含まれる未払金が196百万円、資産除去債務が123百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて920百万円減少し、5,502百万円となりました。これは、長期借入金が561百万円、固定負債「その他」に含まれるリース債務が162百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて949百万円減少し、12,344百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて340百万円減少し、4,622百万円となりました。これは、利益剰余金が397百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第3四半期累計期間の売上高につきましては、台風の被害による店舗休業およびメニュー・数量限定営業の影響により減収に至りました。また、水害対応配送費用等の販管費も増加し、結果として営業減益に至りました。更に災害による損失の計上や、低収益店舗の閉店費用、減損損失を計上することとなりましたが、台風被害の保険金が想定以上であったこと、低収益店舗の閉店については「収益重視型経営」（プロフィット・ドリブン）へとシフトしていく為の施策であることから、今後、更に収益力は向上していく見込みです。

上記を受け、現在、コストコントロールを含めた各種収益性向上策に全力を挙げて取り組んでいるところであり、現時点では前回公表予想値を据え置いております。結果として、通期業績予想の修正が必要となった場合につきましては、速やかに適時開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,207,876	2,634,470
売掛金	490,086	486,858
たな卸資産	288,222	371,529
その他	578,214	562,218
流動資産合計	4,564,399	4,055,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,540,858	4,456,478
土地	1,363,012	1,363,012
リース資産(純額)	2,724,041	2,452,375
その他(純額)	262,333	273,316
有形固定資産合計	8,890,246	8,545,183
無形固定資産	178,251	186,877
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,154,689	2,095,175
その他	2,477,400	2,085,793
貸倒引当金	△8,580	△1,380
投資その他の資産合計	4,623,510	4,179,588
固定資産合計	13,692,007	12,911,649
資産合計	18,256,407	16,966,726
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,448,997	1,455,052
1年内返済予定の長期借入金	748,782	748,782
未払費用	2,204,346	1,906,785
未払法人税等	287,149	90,514
店舗閉鎖損失引当金	58,325	141,392
転貸損失引当金	12,366	11,902
販売促進引当金	—	11,494
その他	2,110,742	2,475,458
流動負債合計	6,870,711	6,841,382
固定負債		
長期借入金	2,965,130	2,403,543
退職給付に係る負債	183,329	152,017
転貸損失引当金	36,131	27,295
資産除去債務	825,493	782,819
その他	2,412,841	2,137,083
固定負債合計	6,422,927	5,502,759
負債合計	13,293,638	12,344,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,988,273	2,988,273
資本剰余金	3,035,541	3,084,016
利益剰余金	1,418,822	1,021,482
自己株式	△2,387,640	△2,415,030
株主資本合計	5,054,995	4,678,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,165	1,841
退職給付に係る調整累計額	△111,022	△57,997
その他の包括利益累計額合計	△109,857	△56,156
新株予約権	17,630	—
非支配株主持分	—	—
純資産合計	4,962,768	4,622,584
負債純資産合計	18,256,407	16,966,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	31,000,742	29,589,508
売上原価	8,809,767	8,341,578
売上総利益	22,190,974	21,247,930
販売費及び一般管理費	20,625,346	20,808,644
営業利益	1,565,628	439,285
営業外収益		
受取利息	9,583	11,128
固定資産賃貸料	414,771	388,249
その他	104,795	190,082
営業外収益合計	529,150	589,460
営業外費用		
支払利息	45,337	34,576
固定資産賃貸費用	417,905	358,741
その他	132,563	25,117
営業外費用合計	595,807	418,436
経常利益	1,498,970	610,309
特別利益		
事業譲渡益	155,000	—
為替換算調整勘定取崩益	99,140	—
受取保険金	—	567,598
その他	113,684	43,564
特別利益合計	367,824	611,163
特別損失		
減損損失	1,688	431,599
災害による損失	—	299,308
その他	86,088	362,514
特別損失合計	87,776	1,093,423
税金等調整前四半期純利益	1,779,018	128,048
法人税、住民税及び事業税	284,037	145,880
法人税等調整額	101,761	78,489
法人税等合計	385,799	224,369
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,393,219	△96,321
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,393,219	△96,321

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,393,219	△96,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	676
為替換算調整勘定	△69,916	—
退職給付に係る調整額	25,404	53,024
その他の包括利益合計	△44,488	53,700
四半期包括利益	1,348,731	△42,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,348,731	△42,620
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位：千円)

品目	期別	前第3四半期 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日		当第3四半期 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日		(参考)前期 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日	
		売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比
直営店売上			%		%		%
らーめん類		14,859,995	47.9	17,824,102	60.2	20,796,902	50.4
セット類		9,878,426	31.9	4,816,641	16.3	12,061,931	29.2
ギョーザ		1,821,909	5.9	2,289,609	7.7	2,521,995	6.1
ごはん類		740,888	2.4	881,730	3.0	973,114	2.3
ドリンク類		665,035	2.1	661,468	2.2	851,226	2.1
洋・和食類		2,090,384	6.7	1,904,106	6.4	2,788,062	6.7
その他		455,842	1.5	755,378	2.6	645,576	1.6
計		30,512,482	98.4	29,133,038	98.4	40,638,808	98.4
F C店等材料売上		402,389	1.3	398,292	1.4	525,828	1.3
ロイヤリティ収入		54,127	0.2	49,223	0.2	70,600	0.2
その他		31,741	0.1	8,954	0.0	33,301	0.1
合計		31,000,742	100.0	29,589,508	100.0	41,268,538	100.0

(注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

② 地域別販売実績

(単位：千円)

地域別	期別	前第3四半期 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日			当第3四半期 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日			(参考)前期 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日		
		売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数
			%	店		%	店		%	店
北海道		155	0.0	-	-	-	-	155	0.0	-
東北		9,713,558	31.8	149	9,197,620	31.6	147	12,950,583	31.9	149
関東		15,243,267	50.0	276	14,569,968	50.0	259	20,241,631	49.8	272
東海		2,842,156	9.3	49	2,749,218	9.4	25	3,823,128	9.4	48
北陸甲信越		2,104,300	6.9	38	2,186,678	7.5	37	2,848,613	7.0	38
関西		449,059	1.5	8	429,552	1.5	7	614,669	1.5	8
中国・四国		159,985	0.5	-	-	-	-	160,026	0.4	-
計		30,512,482	100.0	520	29,133,038	100.0	475	40,638,808	100.0	515

(注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。